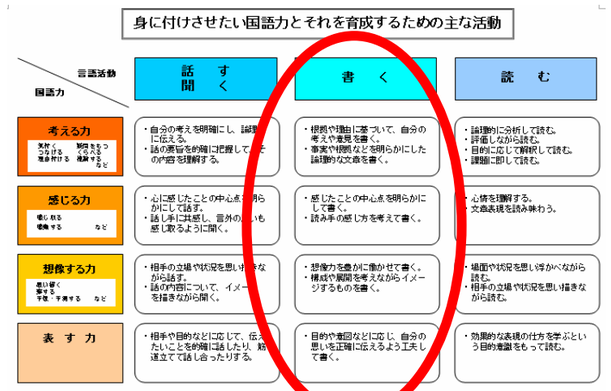
5　活用に当たって

【マトリクスⅠ】



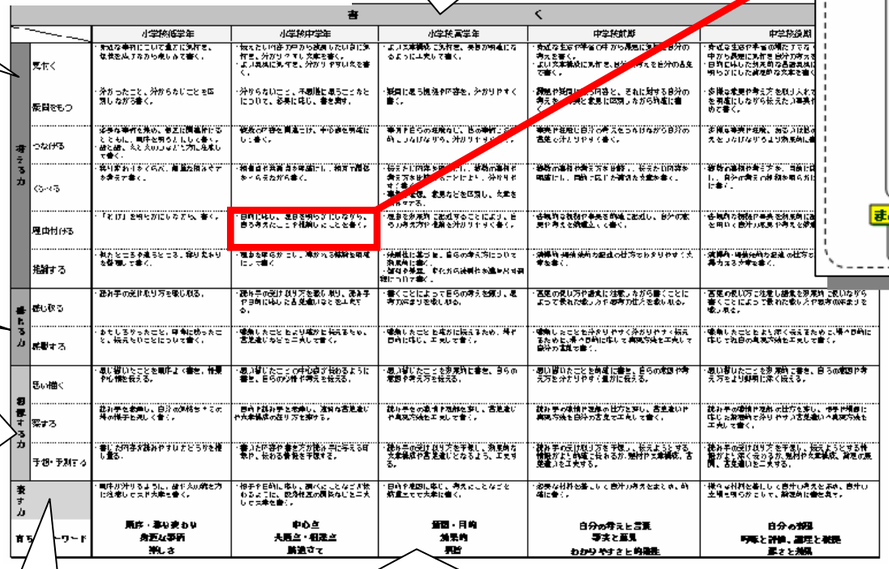
《考える力》
分析力や論理的構築力などを含む論理的思考力です。
本書では、《気付く》《疑問をもつ》《つなげる》《くらべる》《理由付ける》《推論する》の６つの力から例示しました。

《感じる力》
相手の気持ちや文学的な文章の内容・表現、自然や人間に関する事実などを感じ取ったり、感動したりできる情緒力です。
本書では、感じ取る・感動するの２つの力から例示しました。

《想像する力》
経験していない事柄や現実には存在していない事柄などを推し量り、頭の中でそのイメージを自由に思い描くことのできる力です。
本書では、《思い描く》《察する》《予想・予測する》の３つの力で例示しました。

《表す力》
考え、感じ、想像したことを表すために必要な表現力として例示しました。

【マトリクスⅡ】『書く』



《発達段階を意識する》
小学校低学年から中学校後期まで常に発達段階を意識することで、児童生徒一人一人の「育ち」を意識し、方向性をもった指導が可能となります。また、一人一人の児童生徒の「育ち」を的確にとらえ、個に応じた指導をすることも可能となります。

《育ちのキーワード》
各発達段階で、「国語力を貫くもの」として、「育ちのキーワード」を挙げることができます。
小学校中学年では「中心点」「共通点・相違点」や「筋道立て」です。
例えば、中学年では、「中心点」を明らかにしながら書いたり読んだりすることが必要です。常に、このキーワードに留意しながら、学習活動を展開することが必要です。

【　指　導　例　】

《活用ポイント１》
紙面初めの濃い緑色のゾーンには、学年や教科、マトリクス「考える力」×「書く」等のようにセルに対応した指導例であること、育成したい国語力の内容を示しました。

《活用ポイント２》
上・右のインデックスはそれぞれ下の内容を示しています。
・上部インデックス：言語活動と関連する国語力
・右側インデックス：当該学年と教科

《活用ポイント３》
白枠の中は、教科等の本来のねらいや内容を示しています。

《活用ポイント４》
黄色の吹き出しには、本時の流れの中で、特に育成したい国語力の視点を具体的に提案しました。

国語力育成の視点

視　点　①

《活用ポイント５》
緑色のコーナーは、ワークシートやノートの例、児童生徒の作品や参考資料等を提案しました。

ワークシート

教材等の例

児童生徒の活動例

※　資料の作成に当たっては、京の子ども、夢・未来校国語科継続校及び国語力向上拠点校の実践、その他の京都府内の先進的な実践を基にしました。